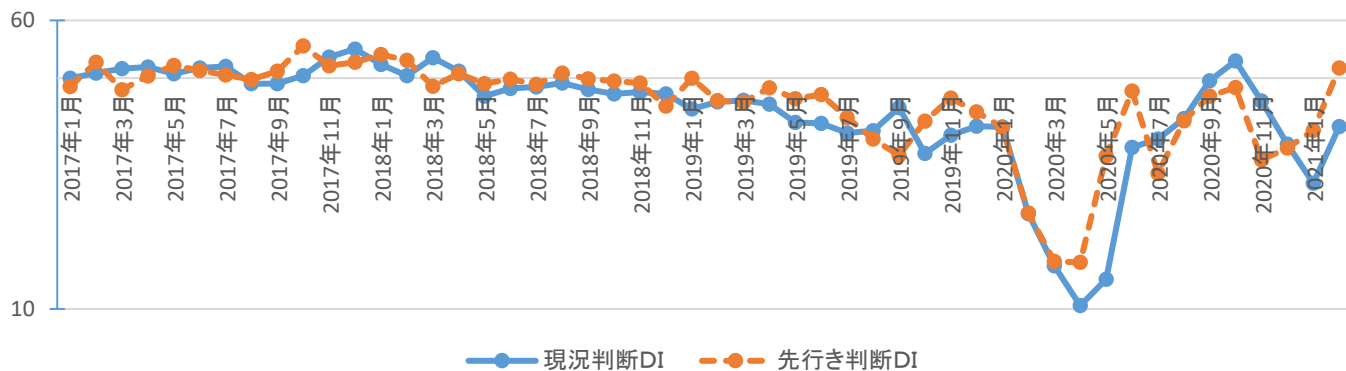


## 東海地域 現状・先行きDIの推移



### ◆東海地方 2021年2月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計動向関連	やや良	《販売量の動き》緊急事態宣言は継続中であるが、1月と比べて若干改善傾向にある。売上が前年比で7割程度に戻っている。その傾向は、都市中心部よりそれ以外の店舗の方が強い。【コンビニ（企画担当）】
		不変	《お客様の様子》来店回数を、1か月に2回から1回にする客が数人出ている。マスク生活のため化粧をしない客も多くいて、売上にも影響している。【美顔美容室（経営者）】
		やや悪	《販売量の動き》飲食・物販等の商業施設の新築・リニューアルの現場が減っていたり、様子見状況が続いている。戸建て住宅やマンションの新築は減少、リフォームは横ばいである。【住関連専門店（営業担当）】
	企業動向関連	やや良	《取引先の様子》家庭内での動画配信サービスの需要増加に伴い通信インフラの増強の要望が多く、当社においては通信系光端末機器の受注も好調で、年内の納入スケジュールは固まっている。【電気機械器具製造業（総務担当）】
		不変	《受注量や販売量の動き》本来2月は年度末に近く異動の時期で客の動きが見られるが、来場者数と成約数が伸びない。今年は新型コロナウイルス禍でリモートが普及し異動が少なくなったことが要因かもしれない。【建設業（役員）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》やはり引き合いが減ってきている。新型コロナウイルスの直接的な影響か、投資を控えるマインドの表れか、いずれにしても良くない傾向である。【金属製品製造業（従業員）】
	雇用関連	やや良	《採用者数の動き》面接の通過率が新型コロナウイルス発生以前に戻りつつある。【民間職業紹介機関（支社長）】
		不変	《求人数の動き》有効求人数の前年同月比を3か月前と比較すると、徐々に改善傾向はみられるものの、ほぼ全ての業種で依然減少傾向が続いている。【職業安定所（次長）】
		やや悪	《周辺企業の様子》3か月前は既に景気が非常に悪い状態だったが、そこから改善の兆しはなく、じりじりと悪化している。自動車関連や通信など一部に調子の良い業種はあるが、大多数は縮小した市場のなかでもがいている状態である。【新聞社「求人広告」（営業担当）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計動向関連	やや良	新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向であり、春に向かって暖かくなり新型コロナウイルス感染者の落ち着きが見られれば、外食、観光、新生活への消費が活発になる。【スーパー（ブロック長）】
		不変	新年度が始まり少し上向きになるようにも感じるが、新型コロナウイルスによる収入減少で、安いサービスへの変更や解約も増加しそうに思われる。【通信会社（サービス担当）】
		やや悪	需要を掘り起こせるような商品が期待できない。今まで需要のあったマスク等の衛生用品も品余り状態になりつつあり、季節用品の状況も芳しくない感じである。【スーパー（販売担当）】
	企業動向関連	やや良	これからも新型コロナウイルスの関連で飲食店などには営業時間の規制が掛かるかもしれないため、景気とイコールで考えることが難しいが、工場などの生産性は若干上がりつつあるので、将来を考えるとどちらともいえないイメージである。【金融業（従業員）】
		不変	注文が非常に増えており前年の2倍以上となっている製品があり、前倒しの依頼もあるのでしばらくは堅調と思われる。【窯業・土石製品製造業（社員）】
		やや悪	今後は異動の時期が落ち着くので客の動きは減り、住宅への関心が薄くなるので来場者数、成約数共に減ると見込む。【建設業（役員）】
	雇用関連	やや良	県内での新型コロナウイルスの感染者数が減少しており、この状況が更に続き緊急事態宣言等が解除されたら、今の状況よりは良くなると思う。新型コロナウイルスのワクチン接種の効果が現れてくると想定すると、現状より改善すると考える。【職業安定所（次長）】
		不変	求人数に特段の変動は見受けられない。また、現時点で変動の予兆とみられる動きも把握できない。【職業安定所（次長）】
やや悪		ワクチン接種が始まったが、引き続き感染リスクはあり、新型コロナウイルス禍による不景気が継続しそうである。【人材派遣会社（営業担当）】	